



家庭の学びファシリテーターのすゝめ

～かかわり方の工夫で、子ども自らの学びを引き出そう～

子どもは、生まれた時から、身近な環境を通して様々な情報を感じ取り、「学び」を進めていきます。その際大切になるのが、周囲の大人とのふれあいであり、「家庭のかかわり」がポイントとなります。

かかわり方の工夫で、子ども自らの学びを引き出し、学びを促進する「家庭の学びファシリテーター」について、3stepで理解を深めていきましょう！

Check! 3 Step

Step 1

家庭の学び ファシリテーターとは



Step 2

家庭の学び ファシリテーター3か条



Step 3

子どもの発達段階と 家庭のかかわり





Step 1

家庭の学びファシリテーターとは



その1

学びを引き出し、促進する

ファシリテーター (Facilitator) は、「促進する人」を意味する英語です。家庭の学びにおいては、「子ども自らの学び」が土台となるため、そこにかかわる人には、「学びを引き出す」という視点も大切です。

これ、どうなっているのかな？



【一緒に考える、一緒におもしろがる】
何が気になっているの？
そこに気付くなんてすごい！
ここはどうか？

NG

【すぐに正解を教える】それは、■■と××で、できているよ。

その2

“学びに向かう原動力”を育む

子どもが学びを進めていくときに大切になるのが、周囲の大人とのかかわりから生まれる「自分は大事にされている」という安心感や他者への信頼感です。そうした数値で測ることができない力（非認知能力）が重要であり、それを育てているという自覚が大切です。

学びに向かう
“原動力”

3つの「創る力」を効果的に働かせる

メタ認知能力やコミュニケーション力

自己肯定感・他尊感情

安心感・他者への信頼感





Step2

家庭の学びファシリテーター3か条



子ども自らの学びを引き出す家庭の学びファシリテーターの基本姿勢として、いつも心がけていたいことです。

その1 その子なりのよさに目を向ける

- ・その子自身のよさを価値付ける。
- ・好きなことや得意なことを話題にする。



NG

兄弟や他の人と比べる。

→人と比べて優劣をつけるようになりたり劣等感を抱いたりする原因になります。

その2 成長の過程を認め、励ます

- ・少しの成長を認めて、ほめる。
- ・少し難しいことに挑戦できるよう励ます。



NG

結果だけ見てご褒美をあげる。

→自分の成長に目が向かず、主体性ややる気の減退につながります。

その3 子ども自身の自己決定を促す

- ・気持ちを受け止め、共に考える。
- ・決めたことを尊重し、最後まで見守る。



NG

子ども任せにする。

→自分の学びを振り返って改善したり粘り強く取り組んだりする力が伸びにくくなります。



Step2

家庭の学びファシリテーター3か条



その1 その子なりのよさに目を向ける

- ・その子自身のよさを価値付ける。
- ・好きなことや得意なことを話題にする。



NG

兄弟や他の人と比べる。

→人と比べて優劣をつけるようになりたり劣等感を抱いたりする原因になります。

こんな声かけが「いいね」👍 例①

〇〇ちゃん、だいすきだよ。
笑顔がかわいいな～。
きれいな服に変えると
気持ちが いいね。



おうちの人だいすき。
私は大事にされているな。
これが「気持ちがいい」
という状態なんだな。

こんな声かけが「いいね」👍 例②

転んでもあきらめないで
がんばっていてえらい！
だんだん上手に乗れる
ようになってきているね。
がんばる姿が見られて
うれしいよ！



私のことをちゃんと
見てくれているな。
もっと挑戦できそう！



Step2

家庭の学びファシリテーター3か条



その2

成長の過程を認め、励ます

- ・少しの成長を認めて、ほめる。
- ・少し難しいことに挑戦できるよう励ます。



NG

結果だけ見てご褒美をあげる。

→自分の成長に目が向かず、主体性ややる気の減退につながります。

こんな声かけが「いいね」👍 例①

前に比べて体力がついたね！
ずっと、卓球の自主練習を
がんばっているからだよね。



ラリーできる回数も伸びたね。
目標をもってがんばっていて
嬉しいよ。

自分の成長がわかったぞ。
次の目標は、何にしようかな。

こんな声かけが「いいね」👍 例②

苦手だった計算も繰り返し練習
してできるようになったよね。
あの気持ちがあれば大丈夫。
絶対できる！応援しているよ。



挑戦が大事なんだな。
家族が味方になってくれるから
自信をもてるな。
目標に向かってがんばろう！



Step2

家庭の学びファシリテーター3か条



その3 子ども自身の自己決定を促す

- ・気持ちを受け止め、共に考える。
- ・決めたことを尊重し、最後まで見守る。



NG

子ども任せにする。

→自分の学びを振り返って改善したり粘り強く取り組んだりする力が伸びにくくなります。

こんな声かけが「いいね」👍 例①

イチゴとリンゴおいしそうだね。

イチゴとリンゴおいしそうだね。
どちらの方が好き？私の言ったことをちゃんと受け止めてくれているな。
気持ちを伝え合うのって楽しい！

こんな声かけが「いいね」👍 例②

～について調べているんだね。
〇〇は、～について、
どんなこと考えたの？我が家の事と結び付けた
いい考えだね。
私もそう思うよ。くわしく調べて、考えてよかった！
次は、◆◆について調べてみようかな。



Step3

子どもの発達と家庭のかかわり



ここに示されている発達の段階は目安であり個人差があります。早いか遅いかではなく、子どもの「今」を見つめて向き合い、家庭の学びの在り方を一緒に考えていくことが大切です。

0歳～【乳児期】 学びの土台 愛情いっぱい



概要

具体例

3歳～【幼児期】 学びの芽生え 興味いっぱい



概要

具体例

6歳～【児童期】 自覚的な学び やる気いっぱい



概要

具体例

15歳～【青年期】 創造的な学び 夢いっぱい



概要

具体例

全体【乳児期】【幼児期】【児童期】【青年期】



一覧表



乳児期(0歳)～ 学びの土台 愛情いっぱい

スキンシップや温かな表情、言葉かけから、「自分が大切にされていること」を感じ取り、親子の愛着が形成されます。そうしてたくさんの愛情を感じることで、他者を信頼し、安心して周りのひと・もの・ことに働きかけられるようになる土台がつくられます。

子ども自らの学びを引き出す家庭のかかわり

心と体でふれあおう

笑顔

スキンシップ

語りかけ

こんな声かけが「いいね」👍



〇〇ちゃん、だいすきだよ。
～すると気持ちがいいね。
～だから泣いたんだね。

笑顔だから嬉しいんだね。
～は、□□と言うんだよ。
大丈夫だよ。側にいるよ。



3つの「創る力」を伸ばす子ども自らの学び

心と体で感じる

身近な環境

愛着の形成

おうちの人だいすき。
私は大事にされているな。
私が笑顔だとみんな嬉しそうだな。
人と関わるのは楽しいな。

学びに向かう原動力

安心感・他者への信頼感の形成につながる





家庭の学びファシリテーターのすゝめ

その子なりのよさに目を向ける・成長の過程を認め、励ます・子ども自身の自己決定を促す

乳児期(0歳)～ 学びの土台 愛情いっぱい

子ども自らの学びを引き出す家庭のかかわり

心と体でふれあおう

身近な環境から学ぶ

心と体で感じる

笑顔

笑顔が かわいいな～。
〇〇ちゃん、だいすきだよ。この人は味方だな。
私がこの動きをすると
みんな嬉しそうだな。

スキンシップ

おむつがぬれて、気持ちが
悪いから泣いたんだね。
きれいな服に変えると
気持ちがいいね。

愛着の形成

おうちの人だいすき。
この動き、「笑顔」っていうんだな。
私のことを大切にして
守ってくれるな。

語りかけ

学びに向かう原動力

安心感・他者への信頼感の形成

大好きな人がいて、とても気持ちよく過ごせるな。
嫌なことがあっても助けてくれる人がいるぞ。
自分にできることを、どんどんやりたいな。

幼児期（3歳頃）～ 学びの芽生え 興味いっぱい

乳児期に獲得した安心感・信頼感を基盤に、興味や関心を広げていきます。この時期の遊びは「やってみたい!」という思いを基に、頭も心も体も繰り返し動かすことで、学びの芽生えへとつながっていきます。

子ども自らの学びを引き出す家庭のかかわり

思いを受け止め、一緒に行動しよう

過程を
ほめる

目を見て
聴く、話す

成長を
喜び合う

こんな声かけが「いいね」👍



私は～が心に残ったけど、〇〇はどうだった？

～を頑張ってるね。嬉しいよ。

～までできるようになったね。

やっているところを見せて。

～を続けていてすごい。



3つの「創る力」を伸ばす子ども自らの学び

夢中になって遊ぶ

遊び・体験＝学び

達成感・成就感

こうやったらどうなるのかな。

なんでこうなるんだろう？

もう一度（～を変えて）やってみよう。

どうすればもっと～になるのかな。

わたしも～のように、

…してみたい！

学びに向かう原動力

自己肯定感・他尊感情につながる



自己肯定感：ありのままの自分をかけがえのない存在として肯定的、好意的に受け止めることができる感覚

他尊感情：他人を大切にする気持ち、他者への思いやりの気持ち

幼児期（3歳頃）～ 学びの芽生え 興味いっぱい

子ども自らの学びを引き出す家庭のかかわり

思いを受け止め、一緒に行動しよう

今日は、何して遊んだの？

ドロ団子作りをがんばったんだね。楽しそう！
水の量をいろいろ変えてやってみるっておもしろいね。明日も、お友達と作るのが楽しみだね。

過程を
ほめる

遊び・体験から学ぶ

夢中になって遊ぶ

ドロ団子を作りたいと思ったけど、水を入れたらトロトロになっちゃった。明日も、☆☆さんと◇◇さんとやる約束したよ。

今日は、どうだった？

ドロ団子できたんだね！
大きい山や川、トンネルもできたなんてすごいね！
今度作り方を見せて。
お友達と協力するとよりいいのができるんだね。

目を見て
聴く、話す

達成感・成就感

思った通りのドロ団子ができた！
大きな山や川、トンネルも、3人でやったらできたんだよ！
次は何を作ろうかな。

成長を
喜び合う

学びに向かう原動力

自己肯定感・他尊感情の形成

うまくいなくても、あきらめずにがんばった私っていいな。
友達っていいな。協力して一緒にやるとよりよくなるな。
いろいろなことに興味が出てきたぞ。
自分にできることに、どんどん挑戦したいな。

児童期（6歳頃）～ 自覚的な学び やる気いっぱい

幼児期までに体験を通して獲得した自信や他者を大切にする気持ちを基に、自分の取り組むべき課題を自覚して学びを進めます。その際、解決に向けて仲間と協力したり、進み具合を確かめ、改善したりすることで、より意欲的に追究するようになっていきます。

子ども自らの学びを引き出す家庭のかかわり

成長を認めて、寄り添おう

相談にのる

一緒に考える

共に成長を振り返る

こんな声かけが「いいね」👍



〇〇は、どうしたいの？どう思った（感じた・考えた）？
今日はどんなことを学校で学んだの？
友達の意見についてどんなことを考えた？
前と比べて～になっているね。ずっと～していたものね。



3つの「創る力」を伸ばす子ども自らの学び

進んで問題解決
に取り組む

自分で解決する楽しさ
仲間と取り組む喜び

学びに向かう原動力

メタ認知能力やコミュニケーション力の向上につながる

仲間や地域

きっとこうなるだろうから、
こうやって調べてみよう。
他の人の考えを聞いてみたい。
私の考えとどこが同じ（違う）のかな。
なんでなのかな。
ここまでは～だったから、
次は◆◆をしよう。





児童期（6歳頃）～ 自覚的な学び やる気いっぱい

子ども自らの学びを引き出す家庭のかかわり

成長を認めて、寄り添おう

今日は、学校でどんなこと
やったの？

△△さんがくわしいかな。
一緒に聞きに行ってみる？
～なら、今度、実際に行っ
てみよう！

写真に撮ってきた実際の様子
を、一緒に調べているお友達
にも見せてあげるといいね。
資料で調べているだけでは
分からないことがあるね。

学びに向かう原動力

相談にのる



一緒に
考える



共に成長を
振り返る

仲間や地域から学ぶ

進んで問題解決に取り組む

地域の歴史について、友達と
図書館やネットで調べたよ。
もっとくわしく調べるには、どう
すればいいかな？

自分で解決する楽しさ
仲間と取り組む喜び

実際に歩いてみたら、どうして
ここにお城があったのか納得
できた。昔の人ってすごい！

メタ認知能力やコミュニケーション力の向上

まとめには、もっと図や写真を取り入れる必要があるな。
私の解決したい課題は、地域に大きく関係するから、
今度は、△△さんにインタビューに行こう！
その時は、友達を誘っていこう。





青年期（15歳頃）～ 創造的な学び 夢いっぱい

児童期までに少しずつ発揮し続け、育んできた「3つの創る力」をより効果的に働かせながら学んでいきます。自分の将来の夢や地域の課題など正解のない問題にも、最適解や納得解を生み出そうと取り組みます。

子ども自らの学びを引き出す家庭のかかわり

心をつないで、応援しよう

経験を
語ろう

見守る

挑戦の
後押しを
する

こんな声かけが「いいね」👍

私は、〇〇ぐらいの頃には・・・を頑張っていたよ。
～について考えているんだね。もうちょっと聞かせて。
これまで～してきているから、〇〇なら、きっと大丈夫！

3つの「創る力」を伸ばす子ども自らの学び

夢に向かって挑戦する

多様な環境

正解のない問題にも、
多様な他者と協働しながら最適解や納得解を生み出そうと取り組む

自分の考えは、地域（日本、世界）の人から見るとどうなんだろう。
自分の将来に向けて、今は～をしよう。
もっと多くの考えを聞いたり深く調べたりして考えよう。
地域の問題を解決したい。

学びに向かう原動力

3つの「創る力」を一層効果的に働かせることにつながる

納得解：未検証だが、納得できる解、正解のない課題での解決案

最適解：いくつかある解の中で、現状から考えられる目的に最もよく当てはまる1つ



青年期（15歳頃）～ 創造的な学び 夢いっぱい

子ども自らの学びを引き出す家庭のかかわり

心をつないで、応援しよう

将来の夢か・・・私は、最初は、本屋さんになりたかったかな。読書が好きだったし。でも、〇〇くらいの頃には、バレーボールに夢中だったな。どちらも、好きで一生懸命取り組んだことで、そこから学んだことは、今の仕事に役立っていると思う。

経験を語ろう



多様な環境から学ぶ

夢に向かって挑戦する

今がんばっていることって、将来につながるんだな。目標に向かってがんばろう。

いろいろと話を聞いてみるこっていいね。～については、資格があるんじゃない？どこで、どんな勉強が必要なのか、調べる必要があるね。分からなければ一緒に調べるよ。

見守る



正解のない問題にも、多様な他者と協働しながら最適解や納得解を生み出そうと取り組む

先生や友達と話しているうちに、何となくやりたいことが見えてきた。その1つの～になるためには、どうすればいいんだろう。

挑戦の後押しをする

学びに向かう原動力

3つの「創る力」を一層効果的に働かせる

自分の将来に向けて、今は～をしよう。
私の考えは、地域（日本、世界）の人からはどう見えるか、もっと色々な人に考えを聞いたり深く調べたりして考えよう。
今の目標に向かって、あきらめずにやりぬこう。
新しい分野に挑戦して、様々な経験をしよう。



納得解：未検証だが、納得できる解、正解のない課題での解決案

最適解：いくつかある解の中で、現状から考えられる目的に最もよく当てはまる1つ